

特別展

いわさきちひろの世界 ピエゾグラフィ展



「こげ茶色の帽子の少女」
1970年代前半

やわらかな色彩と筆致で、子どものすがたを描きつづけた画家・いわさきちひろ（1918～1974）。あたたかさに満ちた作品の数々は、没後49年を経た現在でもなお多くの人々に愛されています。本展では、ちひろ美術館所蔵のピエゾグラフィを中心に、その絵の魅力をお伝えします。

また展示では、ひとりの人間としてのいわさきちひろにも着目します。大正から昭和にかけての激動の時代に、女性として、画家として、ちひろはどのように生きたのでしょうか。ちひろが残したことばや、身のまわりの品々なども紹介し、その生き方と人物像を浮かび上がらせませす。

展示を通して、いわさきちひろの世界を存分に感じていただければ幸いです。



「睡蓮の葉の上のおやゆび姫」
『世界名作えほん全集14 おやゆび姫』
(ひかりのくに昭和出版)より
1966年



「大人になること」自筆原稿
1972年（複製出品）



ちひろ愛用の
ワンピース

ピエゾグラフィとは

ちひろ美術館では、2004年より、その時点での作品の風合いを後世に伝えていくため、原画をデジタル情報として記録し、保存していくアーカイブを続けています。同時に、そのデジタル情報をもとにして、「ピエゾグラフィ」の制作も進めてきました。ピエゾグラフィとは、耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現で、ちひろの繊細な水彩表現まで高度に再現しています。光に強いピエゾグラフィは、ちひろの作品の公開の可能性を大きく広げました。

いわさきちひろ（1918～1974）

福井県武生（現・越前市）生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。1956年、小学館児童文化賞、1961年、産経児童出版文化賞、1973年、『ことりのくるひ』（至光社）でポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。代表作に『おふるでちゃぶちゃぶ』（童心社）、『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）などがある。



自宅にて1973年4月

関連イベント 会場／仙台文学館講習室

※いずれも、参加の際、特別展観覧券の半券が必要です。

1 講演会

申込締切 4/14(金) 必着

母、いわさきちひろの作品と思い出

日 時／5月5日(金・祝) 13:30～15:00
出 演／松本猛氏(絵本・美術評論家、ちひろ美術館
常任顧問、横浜美術大学客員教授)
定 員／80名(抽選)

2 ワークショップ

申込締切 4/26(水) 必着

ちひろの“にじみ”技法体験 マグネットとメッセージカードをつくろう

ちひろの技法を体験するワークショップです。水彩絵の具で紙に“にじみ”をつくり、好きな部分を切り取ってマグネットとメッセージカードを制作します。
日 時／5月20日(土) **A**10:00～11:00 **B**14:00～15:00 (**A**・**B**は同じ内容です)
講 師／宍倉恵美子氏(安曇野ちひろ美術館学芸員)
対象・定員／小学生以上、**A**・**B**各20組(抽選) 参加費／1人300円

3 講演会

申込締切 5/23(火) 必着

いわさきちひろ ～美しいものを守る闘い

日 時／6月11日(日) 13:30～15:00
出 演／上野千鶴子氏
(社会学者、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長)
定 員／80名(抽選)

申込方法

往復はがきに、イベント名、氏名、住所、電話番号、**2**のワークショップは希望時間(**A**または**B**)を明記して、締切日までに仙台文学館へ。申し込み多数の場合は抽選。

- 1** **3**の講演会 …………… はがき1通につき**1名**
- 2**のワークショップ …………… はがき1通につき**2名まで**

※規定人数以上のお申し込み、また1名で2枚以上のお申し込みは無効となります。
※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外に使用しません。

交通のご案内

バス利用の場合

〈宮城交通バス〉
仙台駅西口バスプール2～4番乗り場 仙台北・泉地区方面行（北山トンネル経由を除く）

〈市営バス〉
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、南1番出口より徒歩約25分（台原森林公園内あかまつの道経由）
※山道です。雨天時は道が滑りやすくなりますのでご注意ください。

駐車場40台（無料）

台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ご来館のみなさまへお願い

- 体調がすぐれない場合はご来館をお控えください。
- 館内では感染症予防にご協力をお願いいたします。

今後の 展覧会

こども文学館えほんのひろば
ささめやゆき物語 2023年7月～9月

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容に変更が生じる場合があります。

(公財) 仙台市市民文化事業団 仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL 022-271-3020 FAX 022-271-3044
<https://www.sendai-lit.jp/>

